

製品名: PPT1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85956**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,FC 1:25-1:50
分子量	34.2kDa

抗原情報

遺伝子名	PPT1
別名	Palmitoyl-protein thioesterase 1, PPT-1, Palmitoyl-protein hydrolase 1, PPT1, PPT
遺伝子 ID	5538.0
SwissProt ID	P50897
免疫原	この PPT1 抗体は、ヒト PPT1 の完全長組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されません。

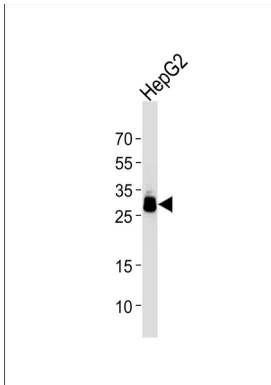
背景

リソソーム分解中に、タンパク質またはペプチド中の修飾システイン残基からパルミチン酸などのチオエステル結合脂肪酸アシル基

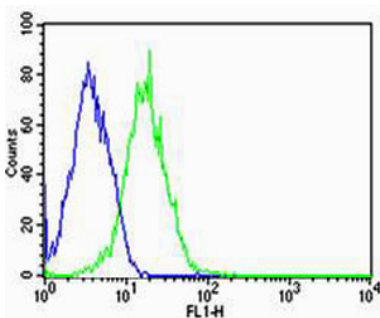
を除去します。14~18 炭素鎖長のアシル鎖を好みます。

研究分野

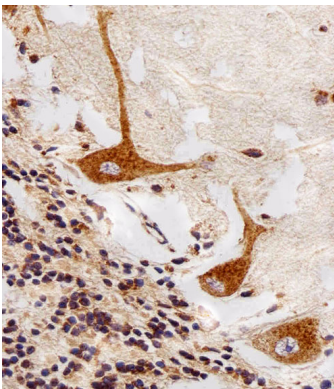
画像データ



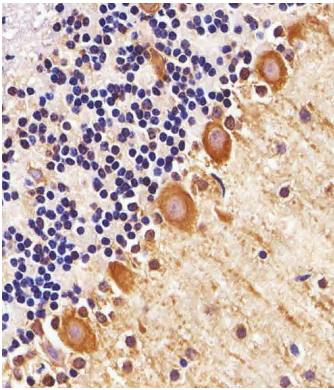
PPT1 抗体 (C 末端) を用いた HepG2 細胞株ライセートのウェスタンブロット解析。PPT1 マウスモノクローナル抗体は各レーンで 1:1000 に希釈した。二次抗体として、ヤギ抗マウス IgG H&L (HRP) を 1:3000 に希釈したものを使用した。ライセートは 1 レーンあたり 35 μ g。



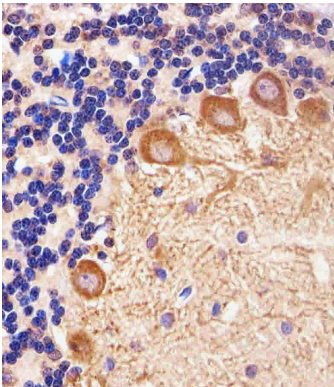
PPT1 抗体 (C 末端) (緑、カタログ番号 AMM85956) を用いた HepG2 細胞のフローサイトメトリー解析と、マウス IgG1 アイソタイプコントロール (青) との比較。AMM85956 は 1:25 希釈で使用した。二次抗体として、Alexa Fluor® 488 ヤギ抗マウス IgG を 1:400 希釈で使用した。



PPT1 抗体 (C-term) (カタログ番号 AMM85956) を用いたパラフィン包埋 H. cerebellum 切片の免疫組織化学染色。PPT1 抗体 (C-term) は 1:25 に希釈した。二次抗体としてペルオキシダーゼ標識ヤギ抗マウス IgG 抗体 (1:400 希釈) を用い、DAB 染色を行った。



PPT1 抗体 (C 末端) (カタログ番号 AMM85956) を用いたパラフィン包埋小脳筋切片の免疫組織化学染色。AMM85956 は 1:25 希釈で使用した。二次抗体としてペルオキシダーゼ標識ヤギ抗マウス IgG 抗体 (1:400 希釈) を使用し、DAB 染色を行った。



PPT1 抗体 (C 末端) (カタログ番号 AMM85956) を用いたパラフィン包埋小脳筋切片の免疫組織化学染色。AMM85956 は 1:25 に希釈した。二次抗体としてペルオキシダーゼ標識ヤギ抗マウス IgG 抗体 (1:400 希釈) を用い、DAB 染色を行った。